

## 日本の海岸線を歩く会 歩行報告書

報告者 友松知宏

## 1. 概要

地域分類	沖縄本島1周一2
歩行区間	那覇空港～名護市役所
実施期間	平成28年03月06日(日)～09日(木)
歩行距離	84.7Km

## 2. メンバー表

No.	役割・分担	氏名	年齢	歩行日数	備考
1	リーダー&記録	友松知宏	76歳	4日	8期
2		尾崎正彦	78歳	3日	4期

## 3. 歩行の概要

歩行距離の赤字=オプション歩行(参考)

	月日	出発地～到着地	歩行距離	歩行者	備考
1	3月06日(雨)	出発地～到着地	歩行距離	歩行者	備考
	友松	前日22:45米子発=(バス)=04:00三宮=神戸空港 07:50発=スカイマーク=10:05着那覇空港10:20～ 11:48旭橋駅前(昼食)～13:50国立劇場おきなわ前 ～15:30港川バス停=(バス)=16:00兼久海浜公園 前～17:00北谷町/シーサイドホテル	15.7Km 3.3Km		
	尾崎	羽田空港07:55(JAL903)=10:50着那覇空港11:30 発=(バス)=12:00港川バス停(昼食)～12:45 大謝名～17:00シーサイドホテル	11.0Km	30.0Km	泊
2	3月07日(晴)	出発地～到着地	歩行距離	歩行者	備考
	友松・尾崎	08:15シーサイドホテル発=(タクシー)=08:59 着兼久海浜公園前～12:00残波ゴルフクラブ(昼食)	11.0Km		
	友松	13:10ゴルフクラブ前=(タクシー)=13:30久良波 バス停～14:40前兼久バス停/南国荘かわらや(荷 物預け)15:00=(バス)15:20恩納村役場前～18:20 かわらや	4.1Km 7.7Km		
	尾崎	ゴルフクラブ発12:50～残波岬往復～14:10ゴルフ クラブ16:50～久良波バス停17:15=(バス)=17:30 前兼久バス停/かわらや	2.0Km 7.2Km	2.0Km	泊

3	3月08日(晴) 友松・尾崎	かわらや08:10発=(バス)=08:30 恩納村役場前～ 万毛座往復～09:00 恩納村役場前 友松 09:15=(バス)=名嘉眞バス停 09:40～12:05 許田 バス停(尾崎さんを待つ) 尾崎 09:05 恩納村役場前～11:40 名嘉眞バス停 11:55 =(バス)=12:20 許田バス停(友松と合流) 友松・尾崎 ～12:40 許田道の駅(昼食) 14:00～15:30 名護市役 所 16:35=(バス)=17:30 かりゆしビーチ ～17:50 かりゆしリゾート・オーシャンスパ	1.8Km 8.6Km 9.6Km 6.5Km	1.8Km 24.7Km	泊
4	3月09日(雨) 友松・尾崎	08:50 オーシャンスパ出発=レンタカー= 09:40 沖縄美ら海水族館= =12:30 万毛座(コンビニ弁当)=佐嘉眞美術館= 嘉数高台=16:00 那覇赤嶺駅(解散) 19:05 那覇空港発で帰る 友松 糸満経由で糸満市大渡/民宿ヨンナー 10日 10:38 那覇空港=神戸空港経由で帰宅			泊
		合計	84.7 Km	3.8Km	

#### 4. 参加費

往復航空運賃(空港までの運賃込)	36,400	32,000(尾崎)
バス代	3,100	
タクシー	2,800	
宿泊代(3泊)	14,300	
宿泊(ヨンナー)	6,000	
飲食代他	7,000	
その他(入場料等)	3,000	
計	72,600	

#### 5. 地図

別紙

#### 6. 歩行の詳細

3月 6日(雨・曇)

友松

10:20 那覇空港を出発。いつもの雨具(菅笠&ポンチョ)を装備。

空港敷地を出たところで、歩行を予定していたバイパス(那覇西道路)入り口になるが、歩行者は通行禁止とあり、路肩が狭く、危険を伴うので、2キロ遠回りになるが、県道332にコースを変更。旭橋駅まえのコンビニで弁当を買い、ゆいレールや外国人のスポーツカーなどを眺めながら昼食。



ゆいレール/旭橋駅まえ

県立博物館手前で左折、海岸通りに港の風景を眺めながら歩く。

この一帯は昔は島で、交易港として栄えた旧那覇の中心地。王宮（首里城）への道路があった国際通りあたりは、なにもない荒地であった。

国際通りが今ようになったのは、戦後、進駐軍が来てからのことである。旭橋から海寄りには、この辺りが海岸であったことを示す地形が随所に残っている。

米軍共同墓地に行き会った。入り口のアーチにインターナショナルと書かれてあり、なぜインターナショナルなのか理解できず、通りがかりの人に尋ねてみて、米国籍以外の死者も埋葬されていることが分かった。

遠い異国の戦地で亡くなり、母国に帰ることもできず、ここに眠る人たちの心情を思うと、哀れを催す。

13:50 港川バス停でバス乗車

そのころから豪雨。バスの前方視界がきわめて悪い。宿泊予定のホテル最寄りのバス停より一つ先で下車。もう一つ先まで行きたかったが、雨がつよく、自衛隊の演習地の真ん中で、人家もほとんどないところなので、下車し。バスで来た道に戻る。演習地が尽きたところにそって右折。

17:00 到着。チェックインしているところへ、尾崎さんも到着。



波で浸食された岩



米軍共同墓地

## 尾崎

12:45 港川バス停で昼食をとり出発。大謝名を左折して宜野湾の海岸通りに出る。インド人学校の卒業式の日か着飾ったインド女性がトロピカルビーチに多い。

右手には米軍普天間飛行場や米軍の施設が続く。前から小雨まじりだったが急に土砂降りに変わり軒下で少し雨宿りした。小降りになったので雨具をつけ歩き出す。カデナエアーベース付近から防波堤の上の小道を歩いてホテルに着く。

3月 7日 (晴)

## 友松・尾崎

8:10 タクシーで出発、昨日の終点兼久海浜公園前バス停から歩行開始。この一帯は米軍基地と自衛隊基地が集まっているので、海岸に一般道路がなく、海が見えないところを黙々と歩くのみである。演習地のはずれで左折。海岸線に沿って道はあるが、防風林があつて海は見えないと教えられ、サトウキビ畑のなか道を歩く。リゾート化はサトウキビ畑にも及んで、畑の真ん中に巨大リゾートホテル。島唄にある「ウージの森 (サトウキビ畑) で初めて逢って・という風情も、いずれは消えてゆくのであろうか。



サトウキビ畑にそびえる  
リゾートホテル

12:30 畑の道が尽きたところで、観光レストランに入るが、予約客で満席とのことで、500m先の残波ゴルフクラブのレストランに入る。

昼食時ということもあって、ラウンドを終わったゴルファーが入ってくる。食事を終わって、隣席に声をかける。たちまち、人がよってきて、激励の集中砲火をあびる。沖縄の人はすぐにうちとけて仲良しになる。



残波ゴルフクラブの皆さん

友松 食事のあと二手にわかれ、別行動となる。

友松は最寄りのバス停で時刻表をみるが、1時間以上の待ち時間になるので、バス停まえの事務所でタクシーを呼んでもらい、久良波バス停まで行き、そこから歩行再開。前兼久の今日の宿「かわらや」へ荷物を預け、バスで恩納村役場前まで行く。

バス停の少し上に「役所跡があると」の標識があり、立寄る。  
役所跡の前の空き地に歌碑があった。

恩納 松下に  
禁止の牌のたちゆし  
志しのぶまでの  
禁止やないさめ



恩納役所の松の木の下（地名か？）に、（青年男女の集会を）禁止する立て札がたったけど、心に想うことまで禁じられたわけではないでしょうから・・・」江戸時代、征服者島津藩の圧政に対する女性歌人の精一杯のレジスタンスである。与謝野晶子の歌「きみ死にたもうことなかれ・・・」を彷彿させる。

そこから歩いて前兼久へ戻る。日差しが強い上に、アップダウンがあり、結構なアルバイトとなった。

南恩納の海岸沿いにソフトボールを一回り大きくした実をたわわに街路樹が立ち並ぶ。通りかかった小学生に教えてもらうのだが、発音が聞き取れず、何の実だかわからずじまいであった。



## 尾崎

12:50 残波岬往復。

真っ青な海を背にした真っ白な残波岬灯台に登る。突然ブーンという音とともに下の方からドローンが飛んで来て頭の上で止まりシャッターの音。脇を見ると中国人と思われる男女が結婚式だったのか盛装で腕を組んでポーズをとっている。最近ではドローンによる記念撮影がある様子。時代が変わった感。絶壁が連なる遥向うに最終地名護市が望まれる。（写真1）

帰りは海岸に降りて岩を伝い乍ら歩く。海岸はのりで埋め尽くされていた。（写真2）



写真1



写真2

14:10. 残波ゴルフクラブ出発。起伏の大きい峠を越え海岸に出る。波打ち際を歩いてまた、峠に登ると久良波だった。そこでバスに乗り前兼久バス停で降り今夜の宿かわらやに着く。

## 友松・尾崎

かわらやは、下が沖縄料理の居酒屋で、2軒分の間口が開放され、1軒分は通りに背中を向けて座るカウンター席で、そちらへ座り、沖縄料理とビールで沖縄の夜を過ごす。さしづめ大型屋台というところ。背中を通行人が通るし、時々オートバイがけたたましく騒音を会話のなかに割り込ませてくるが、解放感があって楽しい。さすがに温かい沖縄である。身をとって骨だけになった魚を乾燥させてモバイルにしている。一見グロテスクで度肝を抜かれるが、それもまた楽しい演出だと思った。三線流しがきて、島唄（沖縄の歌）を歌う。歌の合間に客に「どこから来たか？」と訊いてゆくので、それぞれの身元が知れて、東京から来た人もいて、カウンターの席を飛び越して、初対面同士が盛り上がる。普段はビールをジョッキ1杯しか飲まない尾崎さんが2杯飲んだ。一緒に歩いてはじめてのことである。



魚の骨のモビール／かわらやの1階が沖縄料理

3月 8日 (晴)

8:10 かわらや前でバスに乗り、恩納村役場まで行く。バス停から100mほど先に万毛座入り口の標があり、坂道を上って万毛座まへの土産物屋広場にでる。

万毛座とは断崖絶壁の上の広い草地で、万人が座れる草地という意味である。沖縄の代表的な観光スポットで、すでに大勢の観光客が、草地の周囲の歩行路を歩き、思いおもいに写真を撮っていた。並んだ土産屋を覗き、次に向かった。

万毛座入りバス停で分かれ、友松はバス、尾崎は歩行開始する。



友松

9:40 名嘉真バス停を出発。10:10 今日泊まるホテルの下を通過。荷物を預けることも考えるが、尾崎さんが1日荷物を担いで歩くことを思うと、自分だけ楽な思いをすることがためらわれ、通過。10:40 フセナ海中公園まえ。11:00 AJ 幸喜リゾート。ソフトクリームでエネルギー補充。目の前の海で観光ダイビングをしており、大勢のダイバーがたむろ。変わった形のゴムボートに6人を乗せて、水上スクーターがけん引、かなりのスピードでジグザグに走行。時間があったらやってみたい。



12:05 許田バス停に到着。尾崎さんを待つ。

時間があるので、バス停の建物にもたれて地面に座り、リコー練習を始めた。声があるので見上げると、軽自動車が停まり、乗って行けと言う。旅の趣旨を説明し、ありがたくお断りすると「これを持っていけ」と、後部座席からオレンジをとりだしてくれる。疲れているので、たいへんありがたく頂戴。少年野球の監督を長年されているとのこと。道理でまっ黒に日焼。厳しい顔をしているが、親切なひとである。道中でみたシーサーに似ている。きっと少年たちに慕われているのだろう。今日で歩行を終わり、明日は観光と聞くと、自分が車で案内するという。本当に親切な人だ。ホテルで一緒に呑みたいが、車があつて呑むことができないとしきりに残念がりこれも持って行けと、とまとを一袋取り出してくれる。次の機会と一緒に呑もうと約束、住所をお聞きし、お別れした。



大城さんはシーサーの化身？



大城さんにもらった  
オレンジととまと

## 尾崎

9:05 恩納村村役場バス停を出発。丘を越えビーチに出る。目の前の島に立派なお墓が多く見える。お墓を道沿とか海岸に見かける。こちらでは墓石でなく、家の形をした石棺に葬るようである。(写真3)

砂浜に出て波の音を聞きながら歩く。(写真4) 砂浜は所々で小川などで区切れていてあまり長くない。海岸の道はダンプやトラックが多く、車に追い立てられるように名嘉眞公民館前のバス停に11:40着く。11:55バスに乗り12:20許田バス停に到着。友松と合流。



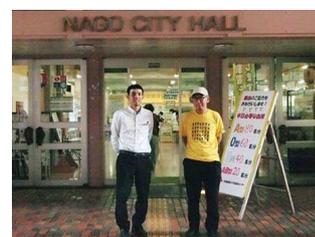
写真—3



写真—4

友松、尾崎 許田バス停から1キロの道の駅で昼食。友松、疲れがたまって、ゆっくり歩き、15:10名護の市内に入る。トヨタレンタリースに立ち寄り、明日の車の手配。15:30名護市役所到着。受付でメッセージ記帳をお願いすると秘書広報担当の大城さんが対応に出てください、快く記帳して頂いた。今日は二人の大城さんにお世話になった。

これで今回の歩行予定は完了。バスでかりゆしビーチへもどりオーシャンSPAへ直行、チェックイン。上空を話題のオスプレー2機が通過していった。

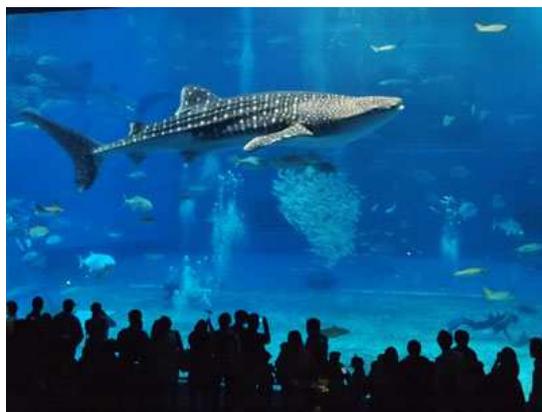


左が大城さん/名護市役所玄関

3月 9日 (雨⇒曇り)

4日の予定を3日に短縮したので、今日は朝から観光できることになった。レンタカーをホテルに持ってきてもらい、朝から美ら海水族館へ行くことにする。朝の出発が遅れ、水族館はすでに人がいっぱいであった。

物は考えよう。朝早くても誰もいなかったら、寒くて、ゆっくり見ようという気持ちにはなれなかったかもしれない。二人とも、童心に帰って、ゆっくり見学。楽しかった。



万座毛に立ち寄り、コンビニ弁当で昼食。予定していた佐嘉眞美術館と嘉数高台公園へ行く。この2ヶ所が今回の目的地で、ここで感じたことを新聞に投稿したので、添付、報告に代える。友松は、高台の「島根の兵奮戦之地碑」で、慰霊にリコーダーで「ふるさと」他を吹奏。



佐嘉眞美術館



島根の兵奮戦之地碑



嘉数高台（激戦地跡）公園

16:00 那覇赤嶺駅前解散。友松は糸満市大度の民宿ヨンナーへ宿泊。翌日帰宅。尾崎はレンタカーを返し、19:05那覇空港発で帰宅した。

## 7、感想

沖縄戦の犠牲に思いをはせ／日本海新聞散歩道

別紙

以上

